



せんだい3.11メモリアル交流館
Sendai 3.11 Memorial Community Center

今からおよそ100年前。
あらいそししおどり
1922(大正11)年は、荒浜磯獅子踊が
踊られた最後の年になりました。
残された資料はごくわずかで、当時を知る人は
もういません。荒浜磯獅子踊とは、一体
どのような踊りだったのでしょうか？
今や多くの謎に包まれています。



企画展
Special
Exhibition

ザザザ

荒浜磯獅子踊

ZANZAKOZAN
ARAHAMA ISO-SHISHI-ODORI

100年の空白と10の謎



展示期間 2024.10/19 sat → 25.2/16 sun

展示場所 | せんだい3.11メモリアル交流館【地下鉄東西線荒井駅舎内(仙台駅から13分)】

開館時間 | 10:00 - 17:00 休館日/毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)/祝日の翌日(土・日曜日、祝日を除く)/年末年始(12月29日~1月4日)

主催/せんだい3.11メモリアル交流館 企画協力/仙台市歴史民俗資料館

ザンザコザン 荒浜磯獅子踊

ZANZAKOZAN ARAHAMA ISO-SHISHI-ODORI

展示関連企画

講座、郷土芸能の実演、太鼓づくりなど、さまざまな趣向を凝らした企画をご案内します。
ぜひ、お問い合わせのうえ、郷土芸能の魅力に触れてください！



講座 〽️ 宮城の郷土芸能解説入門! 〽️

講師は、元・東北歴史博物館館長で郷土芸能に詳しい笠原信男さん。

第1部は、宮城の郷土芸能ししおどり けんぱい ししまい かぐら たうえおどり(鹿踊、剣舞、獅子舞、神楽、田植踊など)の特徴や見どころのお話。

第2部は、展示室内に移動して、荒浜磯獅子踊の謎を深掘りします。

●日時/2024年10月20日(日) 10:00-12:00 ●会場/せんだい3.11メモリアル交流館

●参加申込/2024年10月6日(日) 10:00より電話またはメールで[先着40名程度]

先着
40名程度
参加無料

宮城の
郷土芸能を
解説します!

実演 〽️ 100年先へ! 伝え継ぐ、郷土の芸能 〽️

藤塚・アクアイグニス仙台での野外公演。震災後に惜しまれながら閉校した東六郷小学校、中野小学校に伝わる「くろしお太鼓」(若林区)、「中野小太鼓」(宮城野区)と、仙台で長らく伝わっている「川前鹿踊」(青葉区)、普代中学校中学生が軽やかに舞う「中野流鶉烏七頭舞」(岩手県普代村)の4団体の実演。若者たちのパフォーマンスにご注目!

●日時/2024年11月30日(土) 10:00-12:30

●会場/アクアイグニス仙台(仙台市若林区藤塚字松の西33-3)

●出演協力/くろしお太鼓応援隊、仙台市立六郷小学校、仙台市立高砂中学校、川前の鹿踊・剣舞保存会、普代村立普代中学校

申込不要
入場無料
(直接会場へ)

野外公演での
4団体の
パフォーマンス!

ワークショップ 〽️ 太鼓つくって、ザンザコザン! 〽️

100年後の荒浜磯獅子踊プロジェクトが荒浜で開催してきたイベント「ご存じですか? 荒浜磯獅子踊」が、メモリアル交流館にやってきます。ブルーシートやポイド管を使って、小さな太鼓をつくったら、笛の音に合わせてみんなであたいて、「ザンザコザン」!

●日時/2025年1月19日(日) 10:30-12:00 ●会場/せんだい3.11メモリアル交流館 ●費用/500円(材料費)

●参加申込/2024年12月6日(金) 10:00より電話またはメールで[先着15名程度]

●おしえてくれる人/「荒浜磯獅子踊を再生する会」メンバー

先着
15名程度
500円
(材料費)



せんだい3.11メモリアル交流館

Sendai 3.11 Memorial Community Center

地下鉄東西線荒井駅舎内

〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井字沓形85-4

Tel/022-390-9022

E-mail/office@sendai311-memorial.jp

Web/https://sendai311-memorial.jp/

○開館時間/10:00-17:00

○休館日/毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

祝日の翌日(土・日曜日、祝日を除く)、年末年始

○アクセス/仙台空港から…仙台空港アクセス線仙台行きで25分、仙台駅で地下鉄東西線に乗り換え

仙台駅から…地下鉄東西線荒井駅行きで13分

※お車で越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください ※バイク・自転車でお越しの方は、荒井駅駐輪場(有料)をご利用ください



新井駅の
舎内だよ



ZAN ZAKO ZAN ARAHAMA ISO-SHISHI-ODORI

ザザザザ 荒浜磯獅子踊

荒浜磯獅子踊ものがたり



大正時代の写真(東北歴史博物館 所蔵)

今からおよそ100年前。1922(大正11)年は、荒浜磯獅子踊が踊られた最後の年になりました。
荒浜磯獅子踊は、仙台市若林区荒浜に伝わる郷土芸能です。

時は流れ、「荒浜磯獅子踊」のことを知る人はわずかになりました。
しかし、最後の踊りから100年以上経った2024年、荒浜で「再び磯獅子踊を復活させよう」というプロジェクトが動き始めています。

この展示では、荒浜磯獅子踊がもつ10の謎に迫りながら、プロジェクトの動きについても紹介します。
この機会に、荒浜磯獅子踊や仙台の郷土芸能に興味をもっていただき、応援してもらえたら幸いです。

100年の空白と10の謎

1 名前の謎
「磯」の「獅子踊」?

4 季節の謎
いつ踊られたのか?

2 始まりの謎
いつ始まったのか?

3 伝来の謎
どこから伝わったのか?

5 興行の謎
どこで披露されたのか?

8 獅子頭の謎
この毛、何の毛?

9 装束の謎
何を着ていたのか?

6 周期の謎
踊られるのは、21年目ごと?

7 メンバーの謎
何人で踊ったのか?

10 演目の謎
めじし「女獅子かぎ」とは?